年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（１学年用）　教科　　国語　　科目　現代の国語

教　科：　国語　　科　目：　現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年

教科担当者：宮川　友里

使用教科書：（ 第一学習社『高等学校　標準　現代の国語』 ）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】社会生活で必要とされる国語能力の特質を理解し、卒業後も適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で、相互に伝え合う力を高め、思考力や判断力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言語に対する感覚を養い、生涯にわたって国語を尊重し、国語力を高めようとする態度を身に付ける。

科目　現代の国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。	他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	単元：基本的な国語常識の習得 【知】正しい漢字の読み書き、誤字の訂正、四字熟語、正しい文章表現、適切な接続詞の活用等 【思】論理的文章の基本を理解し、内容を正しく理解する。 【学】漢字小テストに積極的に取り組む意欲を身に付ける。ＩＣＴ機器を活用し、正しい知識を身に付けようとする。文章を簡潔に書く。	・教科書 ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
	単元：書いて伝える　ーー本のＰＯＰー 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】他者に伝える際に適切な文章や構成について理解する。 【学】読書体験を通して多様性への理解を深め、自身の生活に生かそうとする態度を身に付ける。	・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用 ・図書館活用		○		・出席状況 ・ＰＯＰ作品への取組状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	振り返りテスト						○	○		1
2学期	単元：世界を広げる 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】文章の展開を正しく理解し、筆者の主張を正確に読み取ろうとする。 【学】読書体験を通して多様性への理解を深め、自身の生活に生かそうとする態度を身に付ける。	・教科書 なぜ本を読むのか（又吉直樹） ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用	○			・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	単元：現代と社会 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】筆者の主張を正しく理解し、人間と環境や生態系との正しいあり方への理解を深める。 【学】学習によって習得した知識に基づき、自己の将来の生活に生かそうとする意欲を身に付ける。	・教科書 イースター島になぜ森がないのか（鷲谷いづみ） ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	11
	振り返りテスト						○	○		1
3学期	単元：人間と文化 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。 【学】貨幣の価値や労働の必要性を正しく理解した上で、自身の将来に結びつけようとする意欲を養う。	・教科書 ステレオタイプの落とし穴（原沢伊都夫） ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	6
	単元：書いて伝えるー短歌・俳句ー 【知】短歌・俳句の形式や表現技法について理解する。 【思】構成や表現技法のはたらきを考慮して短歌や俳句を作成する。 【学】創作活動や批評活動に積極的に取り組む意欲と態度を養う。	・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用 ・図書館活用		○		・出席状況 ・短歌、俳句への取組状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	7
	振り返りテスト						○	○		1
										合計 56

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　　国語　　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年

教科担当者：宮川　友里

使用教科書：（ 第一学習社『高等学校　標準　言語文化』 ）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】実社会で必要とされる国語能力の特質を理解し、卒業後も適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で、相互に伝え合う力を高め、思考力や判断力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言語に対する感覚を養い、生涯にわたって国語を尊重し、国語力を高めようとする態度を身に付ける。

科目　言語文化　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	単元：小説を読む 短編小説の世界を味わう。 【知】語句の意味、比喩表現の理解、文学史の位置づけについて理解する。 【思】情景に込められた心情描写、登場人物の心情変化を理解する。 【学】豊かな表現力を身に付ける態度、生涯にわたり文章に親しむ態度を身に付ける。	・教科書 羅生門（芥川龍之介） ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	単元：書いて伝える　ーー本のＰＯＰー 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】他者に伝える際に適切な文章や構成について理解する。 【学】読書体験を通して多様性への理解を深め、自身の生活に生かそうとする態度を身に付ける。	・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用 ・図書館活用		○		・出席状況 ・ＰＯＰ作品への取組状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
	振り返りテスト						○	○		1
2学期	単元：古文に親しむ 【知】文語のきまりを理解する。 【思】文章の内容を的確に捉える方法を学ぶ。 【学】古文の特徴を理解し、古文学習の意義を見出す。	・教科書 竹取物語 ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	単元：随筆を読む 【知】歴史的仮名遣い、古文単語を理解する。 【思】古文を正しく理解し、物語の展開を正しく読み取る。 【学】中世の言語文化と現代との重なりや相違について、主体的に考える態度を養う。	・教科書 枕草子、徒然草 ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用	○			・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	単元：和歌と俳諧 【知】特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思】作品に現れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学】様々な古文作品を読むことにより、自国の文化に対する関心を深める。	・教科書 奥の細道 ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	振り返りテスト						○	○		1
3学期	単元：漢文入門 【知】訓読のきまりを理解する。 【思】我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【学】我が国の文化と外国の文化との関係について理解しようとする態度を養う。	・教科書 訓読に親しむ ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・漢字小テストへの取組 （予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	6
	単元：書いて伝えるー短歌・俳句ー 【知】短歌・俳句の形式や表現技法について理解する。 【思】構成や表現技法のはたらきを考慮して短歌や俳句を作成する。 【学】創作活動や批評活動に積極的に取り組む意欲と態度を養う。	・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用 ・図書館活用		○		・出席状況 ・漢字小テストへの取組 （予習・間違い直し） ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	7
	振り返りテスト						○	○		1
										合計 65

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（３学年用） 教科　　国語　　科目　文学国語

教　科：　国語　　科　目：　文学国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年

教科担当者：宮川　友里

使用教科書：（ 第一学習社『高等学校　標準　文学国語』 ）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】実社会で必要とされる国語能力の特質を理解し、卒業後も適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で、相互に伝え合う力を高め、思考力や判断力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言語に対する感覚を養い、生涯にわたって国語を尊重し、国語力を高めようとする態度を身に付ける。

科目　文学国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高める。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	現代の小説 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名にこめられた意味を考える。 【学】作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶ。	・教材 相棒（内海隆一郎） ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	現代の小説 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】内容や構成、展開、描写の仕方、表現の特色などを的確にとらえ、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学】作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・教材 清兵衛と瓢箪（志賀直哉） ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
	振り返りテスト						○	○		1
2学期	戦争と文学 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】作中人物に起きた事や人物相互の感情の変化について理解する。 【学】作品の解釈を踏まえて、人間、社会・自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・教材 バグダッドの靴磨き（米原万里） ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	11
	戦争と文学 【知】文学的な文章やにおける文体の特徴や表現の技法を理解する。 【思】内容や構成、展開、描写の仕方、表現の特色などを的確にとらえ、内容を解釈するとともに、解釈の多様性について理解する。 【学】作品の解釈を踏まえて、人間、社会・自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・教材 春―イラクの少女シャミラに （柴田三吉） ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用	○			・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	11
	振り返りテスト						○	○		1
3学期	現代の小説 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】内容や構成、展開、描写の仕方、表現の特色などを的確にとらえ、内容を解釈するとともに、解釈の多様性について理解する。 【学】作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・教材 ひよこの眼（山田詠美） ・読解力ドリル ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・読解力ドリルへの取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	6
	創作をする 【知】短歌・俳句の形式や表現技法について理解する。 【思】文体や表現の技法に注意して、人物の心情や情景を描写する方法を学ぶ。読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する方法を学ぶ。 【学】創作活動や批評活動に積極的に取り組む意欲と態度を養う。	・教材 テーマを決めて短歌・俳句を作る ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・短歌、俳句の取組状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	7
	振り返りテスト						○	○		1
										合計 57

年間授業計画　様式例

高等学校 令和７年度（４学年用） 教科　　国語　　科目　文学国語

教　科：　国語　　科　目：　文学国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　4 学年

教科担当者：宮川　友里

使用教科書：（ 第一学習社『高等学校　標準　文学国語』 ）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】実社会で必要とされる国語能力の特質を理解し、卒業後も適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で、相互に伝え合う力を高め、思考力や判断力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言語に対する感覚を養い、生涯にわたって国語を尊重し、国語力を高めようとする態度を身に付ける。

科目　文学国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝えあう力を高める。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
1学期	言葉と表記 【知】正しい文章の表記や言葉遣いについて理解する。 【思】整った文章や相手に応じた言葉遣いについて理解する。 【学】正しい言葉遣い等を理解した上で他者と関わる姿勢を養う。	・教材 係り受け、敬語 話し言葉と書き言葉 ・授業ワークシート ・タブレット端末活用		○		・出席状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	戦争と文学 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題を理解する。 【学】作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・教材 わたしが一番きれいだったとき（茨木のり子） 死んだ男の残したものは（谷川俊太郎） ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	9
	振り返りテスト						○	○		1
2学期	近代の小説 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】内容や構成、展開、描写の仕方、表現の特色などを的確にとらえ、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学】作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・教材 鼻（芥川龍之介） ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	11
	現代の小説 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】作品に表われているものの見方・考え方をとらえる方法を学ぶ。 【学】作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・教材 卒業（魚住直子） ・授業ワークシート ・タブレット端末活用	○			・出席状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	10
	振り返りテスト						○	○		1
3学期	近代の小説 【知】漢字の読み書き、難解な語句の意味を調べる。 【思】内容や構成、展開、描写の仕方、表現の特色などを的確にとらえ、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学】作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。	・教材 山月記（中島敦） ・授業ワークシート ・タブレット端末活用			○	・出席状況 ・授業ワークシートへの取組状況 ・課題テスト ・振り返り授業の出席点 ・振り返りシートにおける自己評価	○	○	○	7
	振り返りテスト						○	○		1
										合計 50